

公社) 日本山岳会栃木支部 2022年4月マスターズクラブ山行報告書

- 1 期日：2022年（令和4年）4月18日（月）
- 2 場所：大田原市、茨城県大子町・花瓶山（692m）
- 3 日程コース：

宇都宮ロマンチック村第2駐車場集合（8：00）（計画輸送）＝ ウツボ沢出合駐車場、君島氏と合流（9：30～9：35）－ 向山（10：20）－ 大倉尾根 － 県道尾根分岐（11：45）－ 花瓶山頂上（11：50～12：15）－ 花瓶沢土場（12：30）－ 林道 － ウツボ沢出合駐車場（13：15）＝ 宇都宮ロマンチック村第2駐車場解散

4 参加者：

長百合子、菱田克彦、君島敏明、村田美代、大島健一（会員番号順）、
ゲスト：初谷圭子（足利市山岳協会）

5 行動概要

この日は午後から雨との予報、集合時には既に雲が低く垂れこめていた。ウツボ沢出合駐車場に行くまでも所々で雨がパラパラと。

計画では林道を花瓶土場まで行き、花瓶山（栃木百名山）にまっすぐ登り、大倉尾根を戻る予定だったが、雨が降り出した場合のことを考え、帰り道を歩きやすい林道とする逆回りのコースとした。長リーダーは、一昨日にも同じコースを歩いたとのことで、花瓶山までは行かず、向山あたりまでと駐車場近辺を散策することとした。

登り始めは標高差70mほどの急登で、しんどいが、道端のイワウチワの可憐さに力づけられた。その後勾配は緩み、しばらくして向山（548m）に着く。ここからは、大倉尾根という県境尾根とほぼ平行した尾根を進む。歩きやすい道で、あまり危険な箇所もなく、新しい道標が各所にあって迷うこともない。道の両側に咲くいろいろな花に時々足を止めさせられた。やがて、尾根は県境尾根と合流し、程なく花瓶山頂に至る。

山頂の茨城県側は、直下の植林地が伐採されていて、その向こうの尾根のサクラがきれいだった。サクラを眺めながらの昼食を早々に済ませたが、出発しようとするすると雨が降ってきた。県境尾根をさらに進むと、次郎ブナ、太郎ブナと呼ばれる大木があるとのことだが、雨が降りはじめたこともあって、時間は早いがそこへは行かずに下山することとした。

花瓶沢土場へは、急な道を一気に下る。15分ほどで如来沢沿いの林道に出る。幸い雨も強くなり、無事駐車場に戻った。

天候は今一つだったが、花瓶山は多くの花に出会えるその名のとおりのおり山だった。

（文責：菱田）





山頂から



イワウチワ



トウゴクミツバツツジ



シュンラン



エイザンスミレ



ヒリンソウ

